



今年は秋のイベントが目白押しで、賑やかさが戻ってきた実感はあります。インフルエンザやコロナ、謎の高熱も大流行で、盾と矛の使い分けが忙しいですね。もう11月になってしまいました。暖かいとはいえ長袖の季節になり、朝夕はポケットの中が温かく感じます。

先日、放ディの子ども達が避難訓練と消火訓練を行いました。水消火器を使っての消火訓練、その子はよっぽど手応えがあったのでしょうか。「火事は消すけど、心の火は消さないよ！」と胸を張って言ったそうです。“いや～やられた”と思いました。忙しさの中で、何か大切なものを思い出させてくれた気がします。大切なものはすぐそこにありますね。足元を見て過ごしましょう。

### —11月・12月の予定—

- 11月 1日（水）・20日（月） OT（児童）
- 11月 7日（火） 保護者座談会（児童・保訪）
- 11月 9日（木） ドクターNの医療相談（児童・放ディ・保訪）
- 11月 14日（火） 県民の日ですが あんずは通常通りです（共通）
- 11月 15日（水） 地域連携日（児童のみ支援はお休みです）
- 11月 17日（金）・27日（月） ST（児童）
- 12月 2日（土） あんずde研修交流会（幼稚園保育園の先生方）
- 12月 12日（火） OT（児童）
- 12月 19日（火）・21日（木） ST（児童）
- 12月 28日（木）～1月 4日（木） お正月休み（共通）



### ＝お知らせ＝

#### 《ドクターNの医療相談》（児童・放ディ・訪問支援共通）



今年度3回目の『ドクターNの医療相談』を11月9日（木）14:00～行います。

医療相談は、埼玉医科大学総合医療センター小児科の 奈倉道明 先生が行います。

“ドクターの話を聞いてみたい” “診断ってどう考えればいいの？” “病院に行く前に…” 等、ちょっとした思いで構いません。ご希望ご関心のある方はお声をかけてください。

（ひと枠30分：4組）【今後の予定： 1/11（木）】



#### 《地域連携日について》（児童・放ディ共通）

11月15日（水）は地域連携日となります。今回は、就学前の児童のみ支援をお休みにして、放ディは通常通りの支援となります。お間違えのないよう、よろしくお願ひします。

大きな集団での生活と、あんまでの支援を運動させていくための有意義な時間にしてきたいと思います。訪問するお子さんには事前にお知らせしますので、よろしくお願ひします。

## 《年末年始のお休みについて》



\*年末は、12月27日（水）が、児童・放ディ共に最終日になります。

12月28日（木）～1月4日（木）は冬休みです。

年明けは、1月5日（金）から支援開始になります。お間違えの無いようお願いします。

## 児童の支援あれこれ



10月の運動会シーズンも終わり、すっかり陽ざしも秋らしくなってきました。  
衣替えの時期ですね。最近の寒暖差から、あたたかい洋服を選んでしまいがちですが、  
日中は、半袖+羽織れるもの、など脱ぎ着しやすく調節できるものがおススメです。

着やすいもの、サイズの合った服のご確認、全てのものに名前を書くことを忘れないで  
くださいね。年長さんは、就学に向けて自分で持ち物を用意したり、ハンカチを使う練習  
を始めました。ポケットのあるズボンをご用意ください。

子ども達の使いやすいものを用意することで、自分でできる気持ちを育むことにも  
つながります。毎日繰り返していくことで習慣になるとステキですね。



## 放ディのひとり言



10月の『つくってあそぼう』。「何作るの？」と興味津々で尋ねてきてくれる子どもたちに  
「ストローひこうき」と答えると「????」。そして、はじまりの会のときに現物を見せると、  
さらに「????」…おおよそひこうきには見えない形状のものなんですが、実際「えいっ！」  
と飛ばして見せると、「おおおーっ＼(◎o◎)／！」

そんなオモシロい形のひこうき。簡単に見えますが、線に沿って切る・テープを上手く  
カットして適切なところに貼る（ストローを貼り付けるのが結構むずかしい）、高学年のみんな  
には、型紙を用意して、自分で線を引いてから切る、という工程にもチャレンジしてもらいま  
した。ホールでみんなで飛ばしっこ。「わ～っ、すごく飛んだ！」と大喜びしたり  
「どうしてあまり飛ばないんだろう？」と悔しがったり、疑問を持ったり。  
そのユニークな形を 何かに見立てて遊び始める人も。



『楽しい』だけじゃない、いろいろな思いが垣間見れた活動の時間でした。

### ☆お 礼☆

先月は、チャイルドシート、ジョイントマット、雑巾など、  
たくさんいただきました。本当にありがとうございます。



## 保育所等訪問支援ある日あるとき

10月、幼稚園保育所への訪問は、運動会をはさんだ時期になりました。大イベントの前の勢いと緊張感を感じる園もあれば、ひと山越えたあの、何とも言えないのんびりモードと、達成感から来るのでしょうか、何かが一段上がったような子ども達の顔、顔、顔。

そんな環境の変化の中で、その子達の姿にも成長を感じることの多い訪問の日々でした。学童保育室は、体調不良の子も多く学級閉鎖もあり、少し人数が少なく、心や身体のスペースにゆとりが持てているなど感じる場面が多かったです。振る舞いに余裕を感じました。

“遊べているかな？”これは訪問支援のいちばんのテーマです。“遊び”は、その子が持っている力や思いがいちばん反映される場面です。気持ちよく遊べるもののが見つかっているか、遊びを通じて関わりを持てているか、遊べる場所（安心できる場所）があるかなど、



そこが“いい感じ”だと安心します。そこが育ってきていると、とてもうれしいです。そして、そこまでの過程を先生方と話し合え、とても楽しかったです。

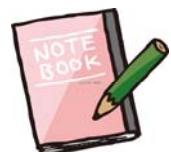
11月の訪問も、どうぞよろしくお願ひします。

## 〈あんず de 研修交流会の報告〉

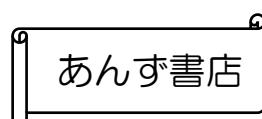
10月28日（土）に、幼稚園保育所の先生方をお招きして、『あんず de 研修交流会』を開催しました。コロナ禍で中断していて、久しぶりに開催することができました。

当日は、市内12ヶ所の幼稚園保育園の先生方21名のご参加をいただき、『育ちが気になる子の行動の解釈—子どもにわかりやすい伝え方—』というテーマで、講演と話し合いを行いました。

児童発達支援センターとして、あんずとして、学びや集いの地域の拠点のひとつになっていけるよう、今後もつながり作りに努めていきたいと思います。



12月にも、今年度第2回の研修会を予定しています。



### 『どっから たべよう』 # 井上洋介



「きょうは うれしい とくだいび」

わたあめ、せんべい、チョココロネ、いろいろな食べ物が特大で次々とあらわれます。

どうやってたべよう？ だれとたべよう？ どこからたべよう？ 夢がふくらむ、こんなのあったら楽しそうと、

ニコニコしてしまいます。

（奥富）



何かが落ち着いたら、戻しましょうね。